

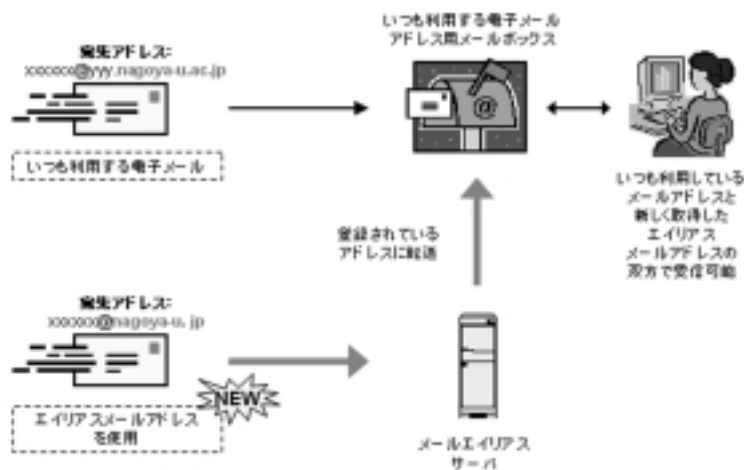
## メールエイリアス実験サービスについて

梶 田 将 司

メールエイリアス実験サービスとは、名古屋大学が取得している汎用JPドメイン nagoya-u.jp を用いた電子メール転送サービスです。

名古屋大学の構成員の皆さんは、日々 nagoya-u.ac.jp ドメインのメールアドレスを利用されていると思います。例えば、xxxxxx@yyy.nagoya-u.ac.jp というメールアドレスをお持ちの場合、インターネットから送られてきたメールは yyy.nagoya-u.ac.jp 用のメールサーバで受信され、xxxxxx さん用のメールボックスに保存されます。これに対して、メールエイリアス用のアドレス xxxxxx@nagoya-u.jp に送られてきたメールは、いったんメールエイリアスサーバで受信され、そこであらかじめ登録してあるメールアドレスにメールを転送します（下図参照）。

つまり、これまで使っていたメールアドレスはそのまま使用しながら、メールエイリアスアドレスでの受信も同時に可能になります。



本実験サービスでは、つぎのサービスが提供されます：

自分の好きな文字を使った電子メールアドレスが nagoya-u.jp ドメイン（nagoya-u.ac.jp ではありません）で取得できます。

ただし、他のユーザによりすでに使用されていないものに限りです。

自分の好きな文字 @nagoya-u.jp 宛の電子メールをあらかじめ指定された電子メールアドレスに転送することができます。

学内・学外に関係なく、転送することが可能です。

転送先は何度でも変更できます。

転送先が学内の電子メールアドレスの場合、自動的にウィルスチェックが行われます。  
自分の好きな文字 @nagoya-u.jp を使用して電子メールを送信することができます。

全学IDを利用して送信時にユーザ認証を行うことにより、世界中どこからでも電子メールを送信することができます。

1年間の実験サービスの後、少なくとも5年間は情報連携基盤センターが提供する正式なサービスとして運用されます。

本実験サービスを利用することにより、つぎのようなメリットをユーザは享受することができます：

他人との重複がない限り、自分の好きなメールアドレスを取得することができます。

現在利用している nagoya-u.ac.jp の電子メールアドレスよりも短くすることができます。

異動しても電子メールアドレスは変えずに済みます（学内異動のみ）。

全学メールサービスの電子メールアドレスに用いられている職員番号や学籍番号の情報を隠すことができます。

本実験サービスの利用申請など、より詳しい情報については情報連携基盤センターホームページ（<http://www.itc.nagoya-u.ac.jp/>）あるいは名古屋大学情報ポータル（<http://myynu.jp/>）をご覧ください。

（かじた しょうじ：名古屋大学情報連携基盤センター  
情報基盤システムデザイン研究部門）